

# 第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 0501001

政策目標	2 めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	6 保健・医療の充実	事業優先度	B	
単位施策	1 主体的な健康づくりの促進	政策事務分類	4 法定自治事務	
事業名	歯科保健事業	見直し年度		
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	5 保健福祉課	
事業主体	雄武町	関係課	7 児童センター 12 教育委員会教育振興課	
事業指標	歯や口腔内清掃指導を受ける人の人数の増加	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
事業目標	現状から10%の増	関係例規・法令名	2 健康増進法・母子保健法	
住民参加 住民協働	1 積極的な歯科保健向上への取組み	関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成 20 年度 事業内容	平成 21 年度 事業内容	平成 22 年度 事業内容	平成 23 年度 事業内容	平成 24 年度 事業内容	
計画 内容	歯科保健事業の実施により、生涯にわたり食事・咀嚼能力を維持するなどの生活の質の向上を図る。	・乳幼児歯科健康相談・歯科健診 ・フッ素塗布 ・成人歯科健康相談 ・むし歯予防・歯科健康講座	・乳幼児歯科健康相談・歯科健診 ・フッ素塗布 ・成人歯科健康相談 ・むし歯予防・歯科健康講座	・乳幼児歯科健康相談・歯科健診 ・フッ素塗布 ・成人歯科健康相談 ・むし歯予防・歯科健康講座	・乳幼児歯科健康相談・歯科健診 ・フッ素塗布 ・成人歯科健康相談 ・むし歯予防・歯科健康講座	・乳幼児歯科健康相談・歯科健診 ・フッ素塗布 ・成人歯科健康相談 ・むし歯予防・歯科健康講座	
	事業費(千円)	2,987	583	583	607	607	
計画 事業費	財源内訳						
	国庫支出金	68	34	34			
	道支出金	236	34	34	56	56	
	地方債	0					
	その他	700	140	140	140	140	
一般財源	1,983	375	375	411	411		
実績 事業費	事業費(千円)	2,735	556	542	526	558	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	32		32			
	地方債	0					
その他	742	180	137	146	137		
一般財源	1,961	376	373	380	421		
関連 事項	(特定財源の詳細等)						
	・国庫支出金 ・道支出金 ・フッ素塗布個人負担金	【評価・実績】	(実施内容等) 乳幼児歯科健診・健康相談 延26回237人 フッ素塗布 延8回429人 虫歯予防教室 4回	(実施内容等) 乳幼児歯科健診・健康相談 延21回255人 フッ素塗布 延7回278人 虫歯予防教室 4回	(実施内容等) 乳幼児歯科健診・健康相談等 延21回382人 フッ素塗布 延7回306人 虫歯予防教室 4回	(実施内容等) 乳幼児歯科健診・健康相談等 延28回386人 フッ素塗布 延7回273人 虫歯予防教室 4回	
			※前年度評価結果 A-継続・現状維持	※前年度評価結果 B-継続・現状維持	※前年度評価結果 B-継続・現状維持	※前年度評価結果 A-継続・現状維持	※前年度評価結果 A-継続・現状維持
	第4期総合計画関連 (継続有り)	年度目標値	歯科保健受診者の増	歯科保健受診者の増	歯科保健受診者の増	歯科保健受診者の増	歯科保健受診者の増
		年度達成率	95%	93%	87%	92%	91%
	全体達成率	19%	37%	54%	73%	92%	
	事業進捗状況	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆☆	

事業名 歯科保健事業	評価者 管理職 職氏名	保健福祉課長	山崎 佳之
	評価者 作成者 職氏名	保健係長	佐々木 希美枝

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	歯科保健関連事業参加者の増								
【抱える課題やニーズは】	健康生活を維持する上で、歯科・口腔機能の維持・向上が重要である	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	むし歯・歯周疾患の発生を予防し、歯科・口腔機能を生涯にわたり維持できる	① 歯科保健関連事業参加者の増(平成23年度実績659人)	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成24年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>659人</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>680人</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>103.2%</td></tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	659人	実績値	680人	達成度	103.2%
目標年度	平成24年度										
目標値	659人										
実績値	680人										
達成度	103.2%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	生涯を通じておいしく食事を摂ることができる、歯科口腔機能を維持できる	② 3歳児歯科健診でむし歯のない児童の率が全道平均以上	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成24年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>72.0%</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>78.8%</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>109.4%</td></tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	72.0%	実績値	78.8%	達成度	109.4%
目標年度	平成24年度										
目標値	72.0%										
実績値	78.8%										
達成度	109.4%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	歯科保健指導の実施	乳幼児健診、健康相談時に歯科医師・歯科衛生士が歯科保健指導を実施し、むし歯・歯周疾患予防に対する意識や知識の啓発を行った。									
	フッ素塗布の実施	概ね1歳以上の幼児を対象にむし歯予防に効果があるフッ素塗布の機会を提供した。									
	歯科保健に関する健康学習の実施	小学校、保育所等との連携により、むし歯・歯周疾患予防の健康学習を行った。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	生涯にわたる健康と食生活の質を維持するためには、歯科・口腔機能の影響は大きく、歯科保健に関する知識や意識の啓発を図ることが必要である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input checked="" type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	計画通り事業を実施し目標値を達成することができた。但し、指標とした3歳児歯科健診のむし歯のない児童の比率等の指標は年度ごとに変化するため、継続的に効果的な事業を実施する必要がある。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	乳幼児健診、保育所事業等関連する事業と同時に実施する等の工夫により効率的に事業を実施することができた。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	事業の一部には受益者負担を求めており、事業の実施時は広く対象者全体へ周知し、公平性の確保に努めた。
公平/概ね公平/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
目標値を達成し、計画的に事業を実施することができた。		



継続/現状維持		
歯科保健専門職である歯科医師、歯科衛生士の従事により乳幼児期から学童期、成人期を含めた歯科保健事業を実施し、歯科・口腔機能の維持・向上を図る。		

※展開方向の区分  
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
 終了  休止  廃止